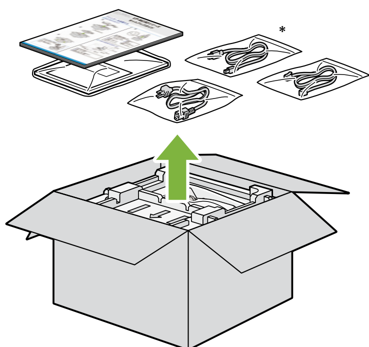
本書では、本機の設置方法について説明します。設置を開始する前に、『安全にご利用いただくために』をお読みください。

LP-M230シリーズ セットアップガイド

プリンターを設置する

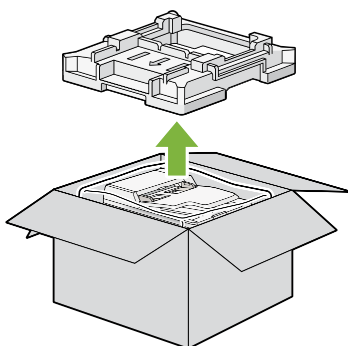
1 製品の梱包を開けます

1.1

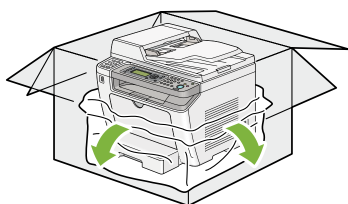


* LP-M230FDW のみ

1.2



1.3

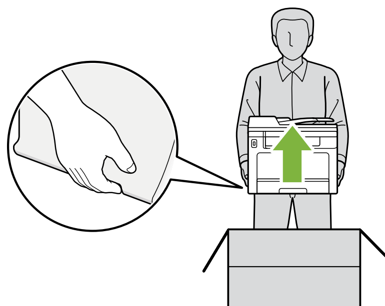


プリンターを持ち上げる前に必ずポリ袋を外すようにしてください。
ポリ袋に覆われた状態でプリンターを持ち上げないでください。





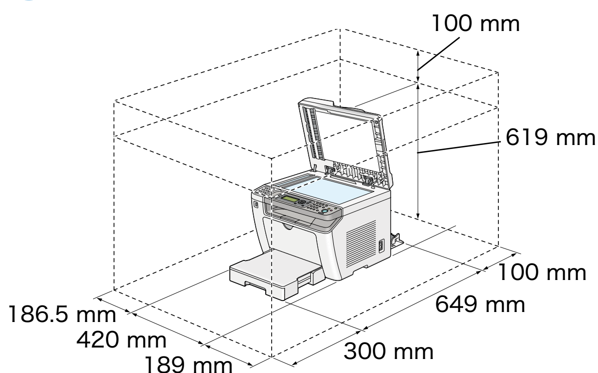
1.4



1.5 同梱品を確認します

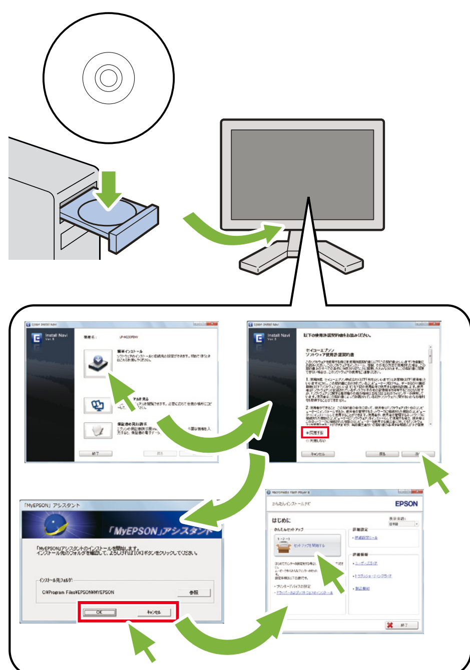
- トナーカートリッジ
  （トナーカートリッジはプリンターにインストールされています。）
- 本書
- 安全にご利用いただくために
- EPSON ソフトウェアディスク
- 電源コード
- 電話線
- USB ケーブル
  （LP-M230FDW のみ）

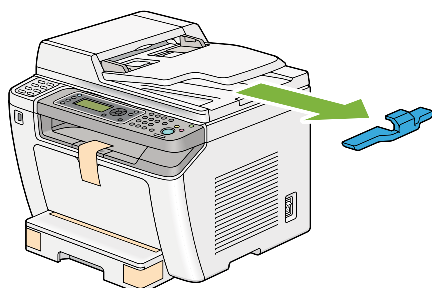
2 本機の設置場所を選択します



- 水平で丈夫な場所
- 温度：10 ～ 32℃
- 湿度：10 ～ 85%（結露なきこと）
- 直射日光の当たらない場所

3 EPSONソフトウェアディスクまたは本書のセットアップ手順に従います

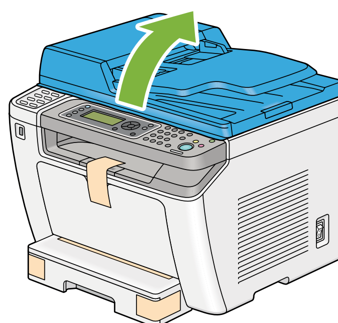




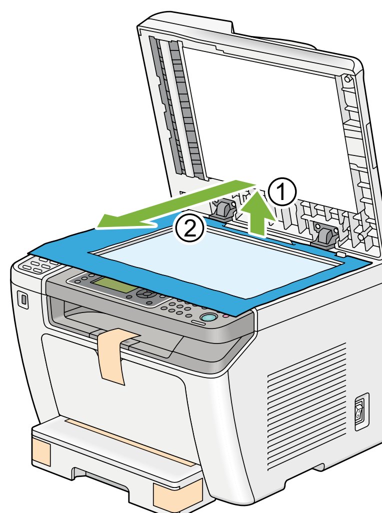
4 梱包材を取り外します

4.1 プリンターから梱包材を取り外します。

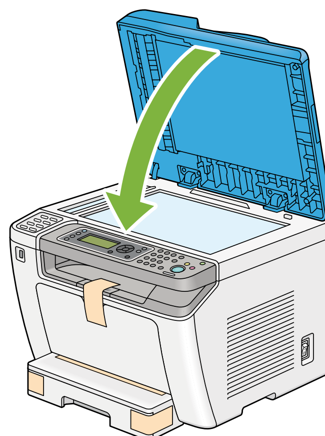
4.2 原稿カバーを開きます。



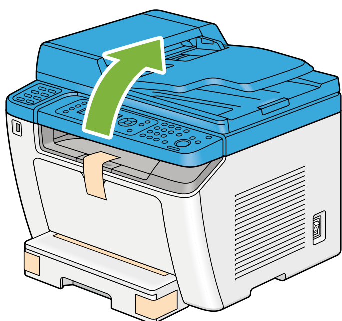
4.3 原稿ガラスから保護シートを取り外します。



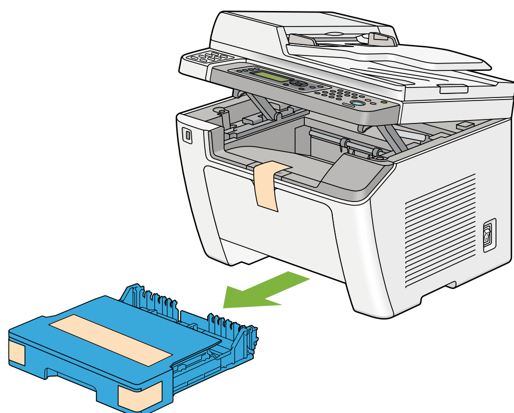
4.4 原稿カバーを閉じます。



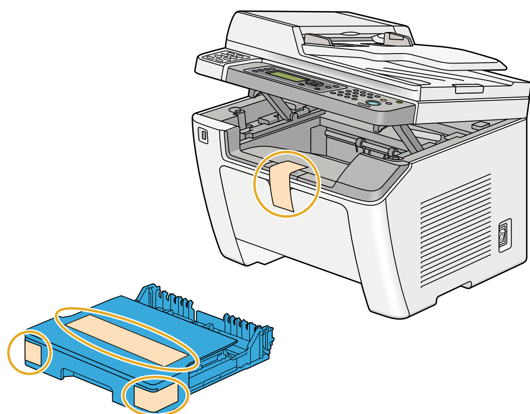
4.5 原稿読み取り部を開けます。



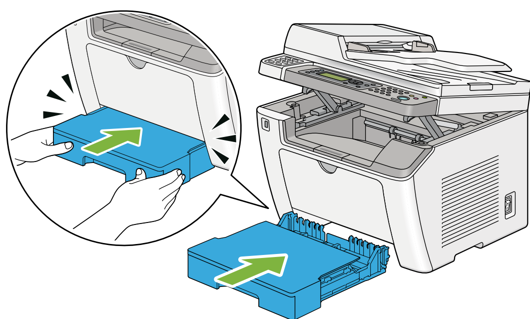
4.6 用紙トレイを引き抜きます。



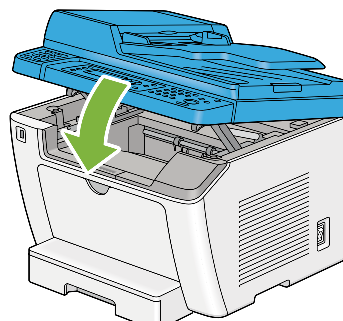
4.7 梱包テープを外します。



4.8 用紙トレイをセットします。

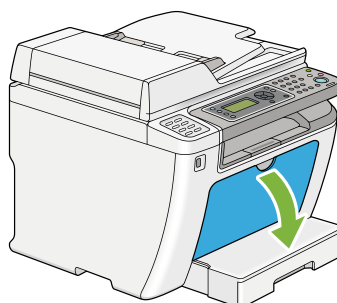


4.9 原稿読み取り部を閉じます。

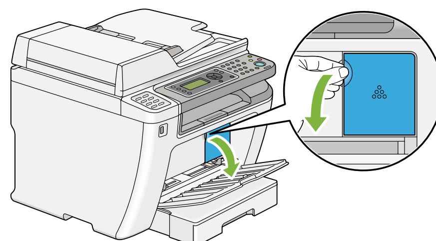


5 トナーカートリッジをセットします

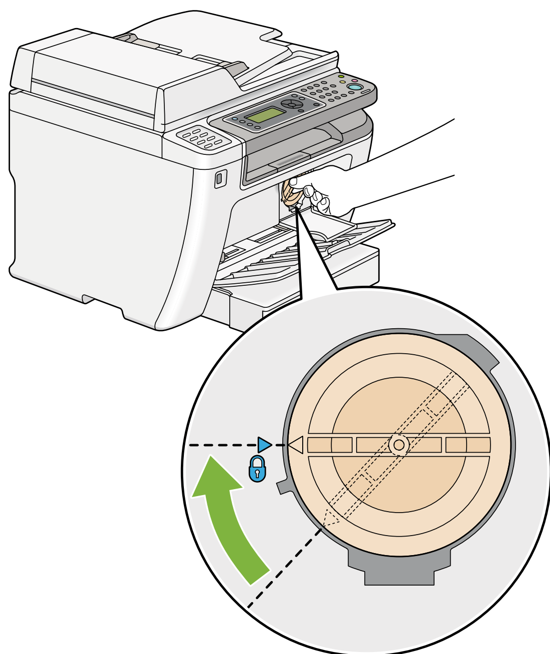
5.1



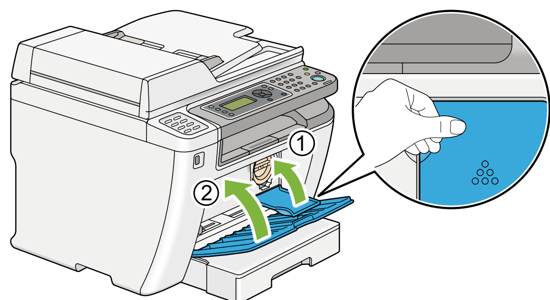
5.2



5.3 トナーカートリッジを時計回りに回して鍵マークに合わせます。



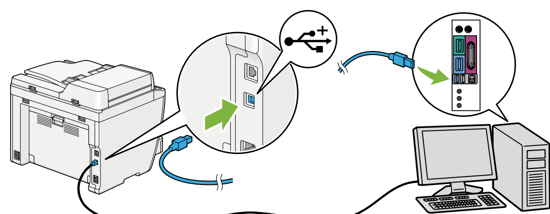
5.4



6 接続タイプを選択して本機を接続します

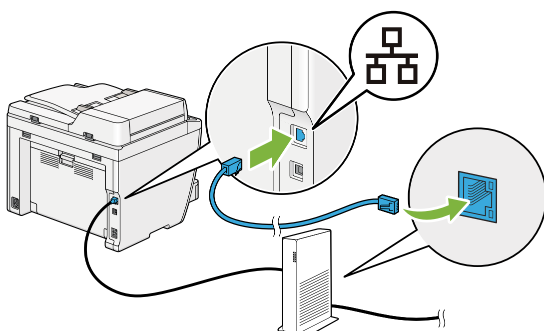
6.1 USB 接続

上側のポートに USB ケーブルを接続します。



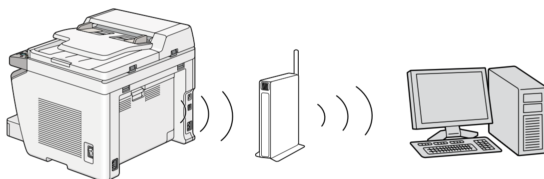
USB ケーブルは LP-M230FDN には同梱されていません。別途、購入してください。

6.2 ネットワーク接続



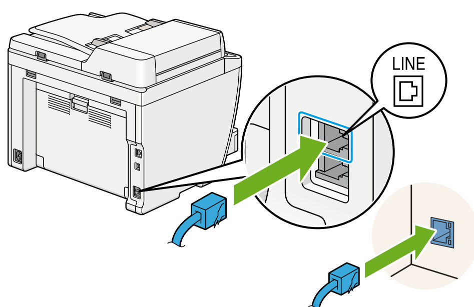
ネットワークケーブルは本機に同梱されていません。別途、購入してください。

6.3 ワイヤレス接続（LP-M230FDW のみ）



ケーブルの接続は必要ありません。手順7に進んでください。

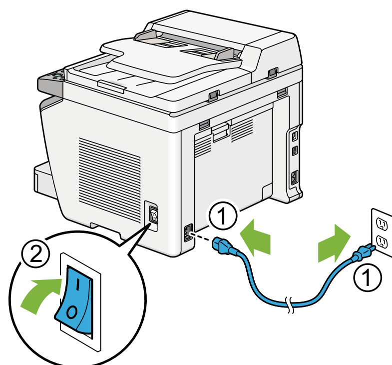
7 電話回線を接続します



電話線は 4 芯のものを使用してください。プリンター付属の電話線は 4 芯です。接続先の電話線差込口も 4 芯対応であることを推奨します。

8 プリンターの電源を入れます

8.1

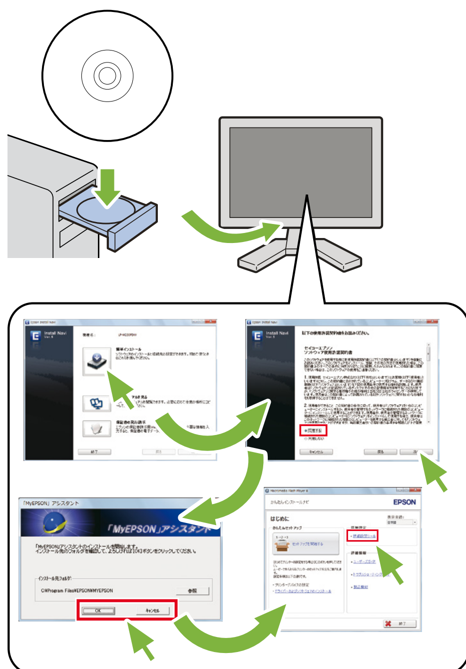


［**新しいハードウェアの検索ウィザード**］が表示されたら、今回は［**キャンセル**］をクリックします。



8.2 操作パネルで初期設定を行います。

9 かんたんインストールナビを使用してネットワーク設定を行います



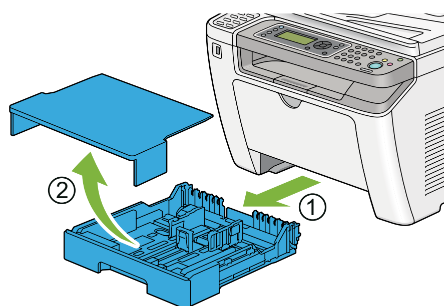
ワイヤレス接続（LP-M230FDW のみ）



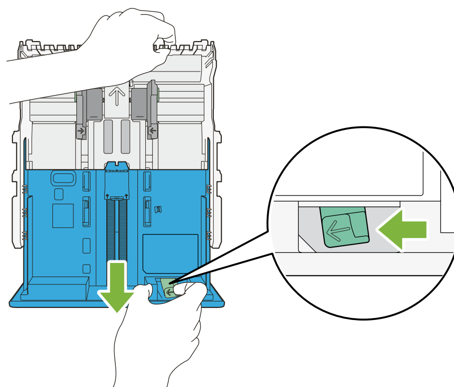
（7 ページ）

10 用紙をセットします

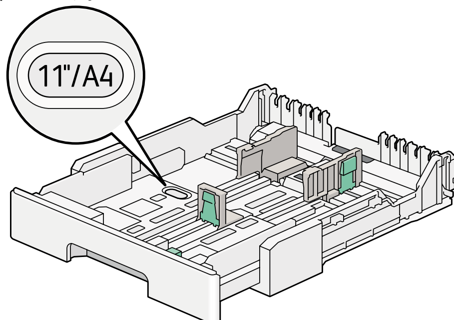
10.1



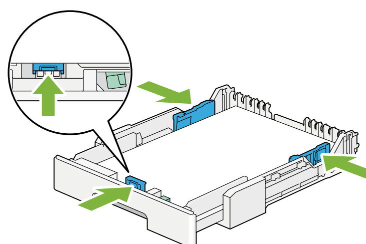
10.2 緑色のレバーを押しながら、用紙トレイを伸ばします。



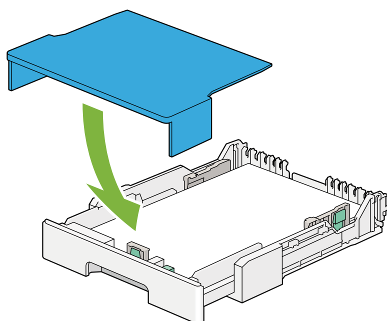
A4 の用紙をセットするには、用紙トレイを中間の長さまで伸ばします。



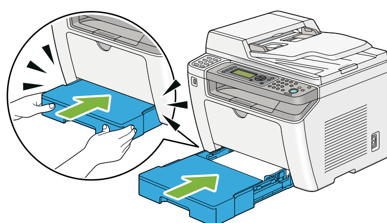
10.3



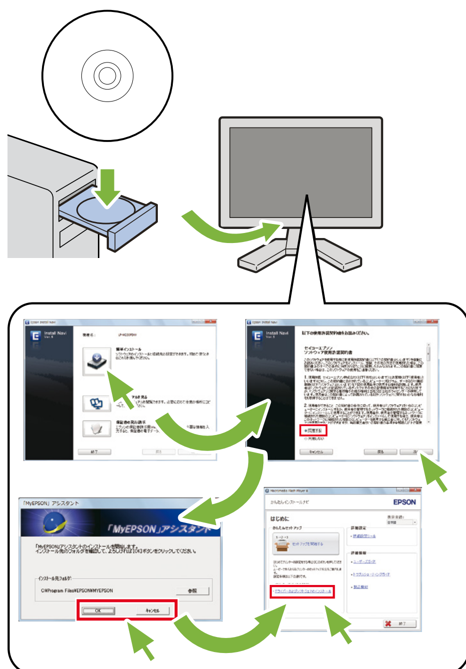
10.4



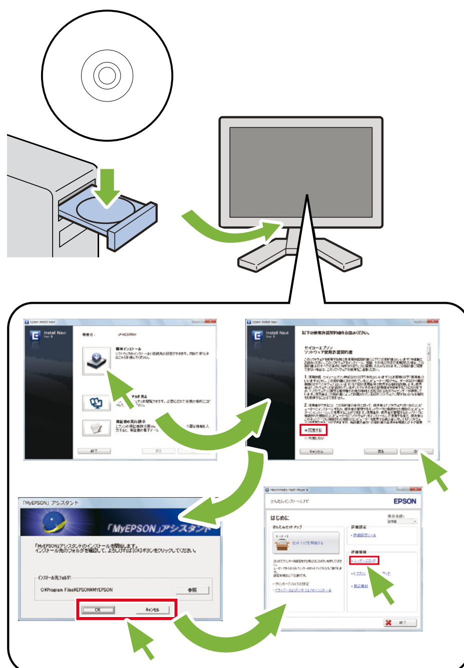
10.5



11 ソフトウェアをインストールします



? その他の詳細はユーザーズガイドを参照してください



Mac OS X をお使いの方は、EPSON ソフトウェアディスク内の［User_Guide］フォルダーを参照してください。

機能の設定方法については、「スキャンおよびファクス機能を設定する」（17 ページ）を参照してください。

ワイヤレスネットワーク接続のセットアップ (LP-M230FDW のみ)

本章では、パソコンのネットワーク環境に合わせて接続方法を選択する手順をご案内します。

1 ネットワークを確認する

Y はい　N いいえ

コンピューターのネットワーク設定を確認してから、次に行う手順を選択します。 ワイヤレスルーターやワイヤレスアダプターなどのネットワーク機器が正常に動作する環境を設定するよう、指示に従ってください。

◆ Windows 7

1. ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ネットワークとインターネット**］を選択します。
2. ［**ネットワークと共有センター**］をクリックします。
3. ［**アダプターの設定の変更**］をクリックします。
4. 表示されたウィンドウで、Q1の質問に答えます。

◆ Windows XP

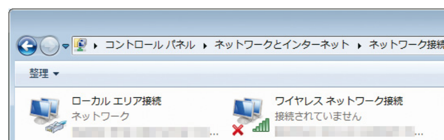
1. ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ネットワークとインターネット接続**］を選択します。
2. ［**ネットワーク接続**］をクリックします。
3. 表示されたウィンドウで、Q1の質問に答えます。

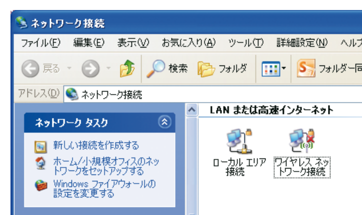
◆ Mac OS X

1. アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。
2. ［**ネットワーク**］アイコンをクリックします。

これ以降の手順については、ユーザーズガイドを参照してください。

Q1 ［ワイヤレス ネットワーク接続］アイコンは表示されていますか？





Y　ワイヤレス LAN 接続を利用できます。

▶ Q2

N　アイコンが表示されない場合は無線 LAN 設定ができる環境にありません。お使いの無線 LAN 機器のマニュアルをご確認いただくか、ネットワーク設定を行った方にお問い合わせください。

有線 LAN 接続をする場合 ▶ Q3

Q2 ［ワイヤレス ネットワーク接続］アイコンに赤色の×がついていますか？

Windows 7	Windows XP

N

ワイヤレス LAN（Wi-Fi）接続を利用できます。

▶ 2 （9 ページ）

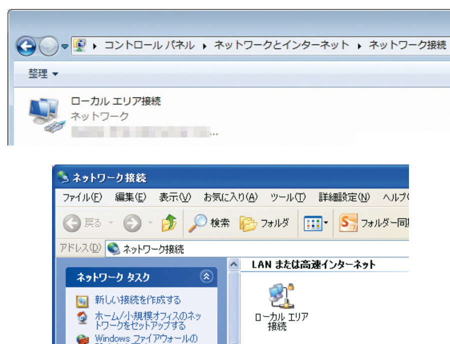
Windows 7	Windows XP

Y

無線 LAN 接続するための機器が認識されていますが、正常に動作していません。パソコン・アクセスポイントなどのマニュアルをご覧になり、接続設定を行ってください。または、パソコンとプリンターで 1 対 1 で使用する場合、直接通信を行うモード（アドホックモード）で接続することができます。

▶ A （13 ページ）

Q3 ［ローカル エリア接続］アイコンは表示されていますか？



Y → Q4

N → ネットワーク接続を利用できません。 コンピューターのネットワーク環境をセットアップする必要があります。

Q4 ［ローカル エリア接続］アイコンに赤色の×がついていますか？

Windows 7	Windows XP

Y

ネットワーク接続を利用できません。コンピューターのネットワーク環境をセットアップする必要があります。

Windows 7	Windows XP

N

有線 LAN 接続が利用可能です。詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。



2 ワイヤレス設定を行う（Windows の場合）

Mac OS X をお使いの方は、EPSON ソフトウェアディスク内の［**User_Guide**］フォルダーからユーザーズガイドを参照してください。

> ワイヤレス設定を行う前に、ネットワーク環境を確認してください。参照 1（7 ページ）。

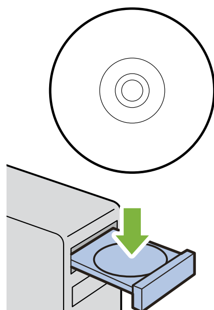
接続設定の際に、無線 LAN 情報の入力が必要になります。この情報は無線 LAN 機器ごとに設定されていますので、お使いの無線 LAN 機器のマニュアルでご確認いただくか、ネットワーク設定を行った方にお問い合わせいただき、ご準備ください。

■SSID（無線ネットワーク名）

■暗号化などのセキュリティーキー（パスワードなど）

ここでは、Windows 7 を例に説明します。

1 本機に同梱されている EPSON ソフトウェアディスクをコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入します。



「**自動再生**」画面が表示された場合は、［**EPSETUP.EXE の実行**］をクリックしてかんたんインストールナビを開始してください。

> CD が自動で起動しない、または「**自動再生**」画面が表示されない場合は、［**スタート**］→［**プログラムとファイルの検索**］を選択し、「**D:¥EPSETUP.EXE**」（D はお使いのコンピューターの CD/DVD ドライブのドライブ文字）を入力して **Enter** キーを押してください。

2 ［**簡単インストール**］をクリックします。

［**ソフトウェア使用許諾契約書**］が表示されます。

3 ［**ソフトウェア使用許諾契約書**］の内容に同意する場合は［**同意する**］をクリックし、［**次へ**］をクリックします。

［**「MyEPSON」アシスタント**］が起動します。

4 ［**OK**］をクリックします。

5 インストール完了画面で［**OK**］をクリックします。

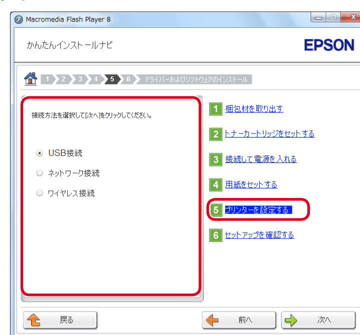
［**「MyEPSON」アシスタント**］のインストールが完了したら、［**かんたんインストールナビ**］が起動します。

手順 4 で［**キャンセル**］をクリックした場合は、［**「MyEPSON」アシスタント**］をインストールしないで、［**かんたんインストールナビ**］が起動します。

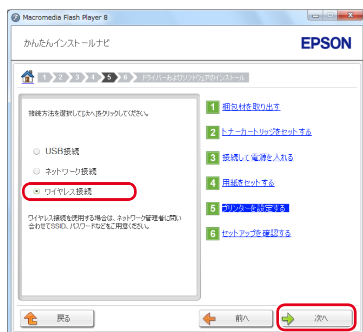
6 ［**セットアップを開始する**］をクリックします。



7 ［**プリンターを設定する**］を選択し、接続方法選択画面が表示されていることを確認します。

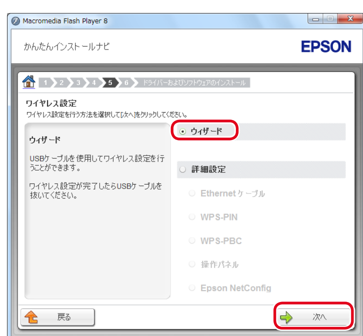


8 ［ワイヤレス接続］を選択し、［次へ］をクリックします。



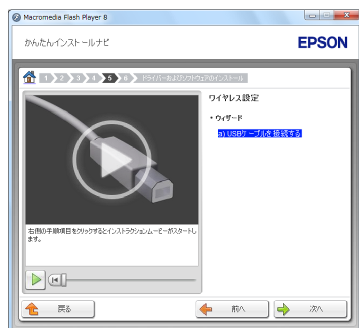
設定方法選択画面が表示されます。

9 ［ウィザード］が選択されていることを確認してから［次へ］をクリックします。

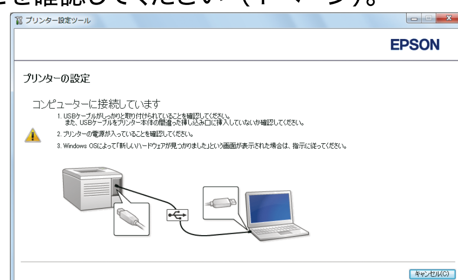


［**詳細設定**］を選択する場合の詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。

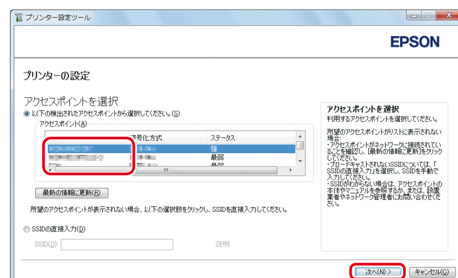
10 ［プリンター設定ツール］画面が表示されるまで設定を行います。



以下の画面が表示された場合は、USB ケーブルがプリンターの USB ポートに接続されていることを確認してください（4 ページ）。

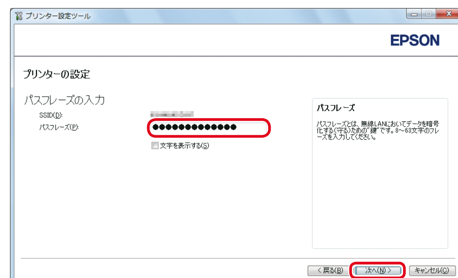


11 ［以下の検出されたアクセスポイントから選択してください。］ラジオボタンをクリックし、アクセスポイントとして使用する SSID を選択します。［次へ］をクリックします。



- SSID を直接入力する場合は、［**SSID の直接入力**］ラジオボタンをクリックし、SSID を［**SSID**］ボックスに入力します。
- アドホックモードでの接続時には、SSID の直接入力が必要です。
- アクセスポイントは電波の強度順に 5 つまで表示されます。電波の強度の弱いアクセスポイントは表示されないことがあります。

12 手順 11 で、検出された SSID を選択した場合は、［パスフレーズ］を入力し、［次へ］をクリックします。



- 入力した文字を表示するには、［**文字を表示する**］チェックボックスを選択してください。
- 上記の画面は、手順 11 で選択した SSID にパスワードが設定されている場合のみ、表示されます。

手順⑪で、手動でSSIDを入力した場合は、［**ネットワークタイプ**］を選択し、セキュリティー設定を行い、［**次へ**］をクリックします。



13 ネットワーク環境に応じて［IP動作モード］を選択します。

［**IPv4**］を選択した場合は、下記の設定を行います。

a. ［**種類**］を選択します。

b. ［**種類**］で［**パネル**］を選択した場合は、下記の項目を入力します。

- プリンターの［**IPアドレス**］
- ［**サブネットマスク**］
- ［**ゲートウェイアドレス**］

［**デュアルスタック**］を選択した場合は、下記の設定を行います。

a. ［**IPv4の設定**］の設定を行います。

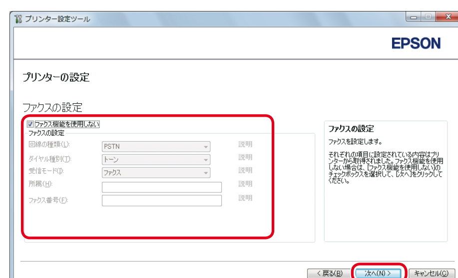
b. ［**IPv6の設定**］で［**手動で設定**］チェックボックスを選択した場合は、下記の項目を入力します。

- プリンターの［**IPアドレス**］
- ［**ゲートウェイアドレス**］



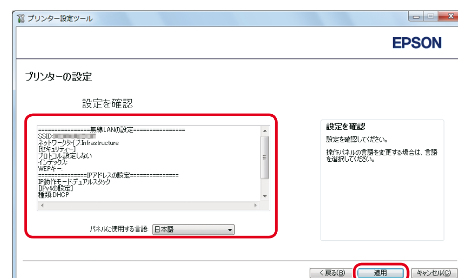
14 ［次へ］をクリックします。

15 必要ならファクスの設定を行い、［次へ］をクリックします。

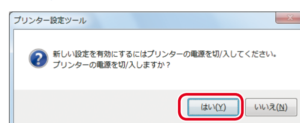


ファクス機能を使用しない場合は、［**ファクス機能を使用しない**］のチェックボックスを選択してください。

16 ワイヤレス設定を確認して、［適用］をクリックします。



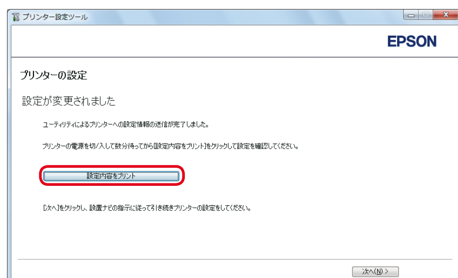
17 ［はい］をクリックしてプリンターを再起動します。



［**設定が変更されました**］画面が表示されます。

プリンターが再起動してワイヤレス接続を確立するまで数分かかります。

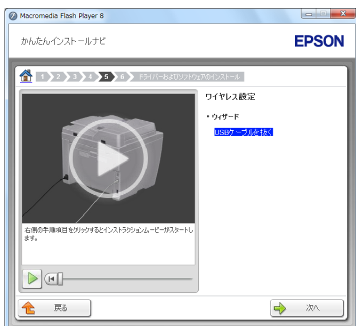
18 ［設定内容をプリント］をクリックし、System Settings ページで「Link Quality」に「Good」､「Acceptable」または「Low」と表示されていることを確認します。



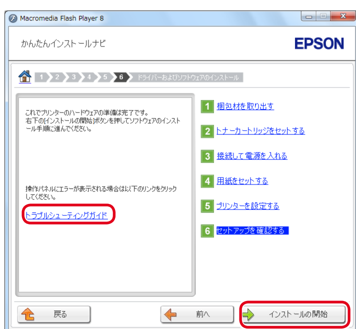
「Link Quality」が「No Reception」の場合、ワイヤレス設定が正しく構成されているか確認してください。ワイヤレス設定を再設定するには、［**設定が変更されました**］画面で［**次へ**］をクリックし、その後［**戻る**］をクリックします。

19 ［次へ］をクリックします。

20 「セットアップを確認する」画面が表示されるまで、画面の指示に従います。

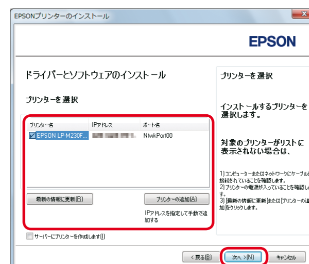


21 LCD ディスプレイにエラーが表示されていないことを確認し、［インストールの開始］をクリックします。



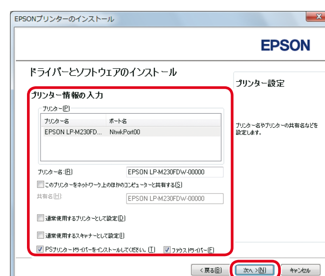
エラーが発生した場合は、［**トラブルシューティングガイド**］をクリックして指示に従ってください。

22 インストールするプリンターが「プリンターを選択」画面に表示されていることを確認してから、［次へ］をクリックします。

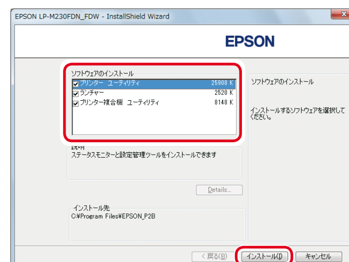


インストールするプリンターが「**プリンターを選択**」画面に表示されていない場合は、次のいずれかの手順を行ってください。
- ［**最新の情報に更新**］をクリックして情報を更新
- ［**プリンターの追加**］をクリックして、プリンターの詳細を手動で入力

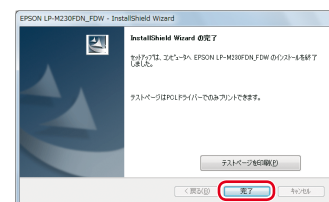
23 「プリンター情報の入力」画面で必要な項目を選択し、［次へ］をクリックします。



24 インストールするソフトウェアを選択し、［インストール］をクリックします。



25 ［完了］をクリックしてこのツールを終了します。



ワイヤレスの接続設定はこれで完了です。

これでセットアップは完了です。

A アドホック接続を設定する（Windows の場合）

コンピューターでアドホックの設定を行う手順は、OS、コンピューター、およびワイヤレス機器のメーカーによって異なります。 詳細については、ワイヤレス機器のマニュアルを参照するか、メーカーのカスタマーサポートにお問い合わせください。次のセクションでは、標準設定の Windows XP または Windows 7 のセットアップについて説明します。

> ワイヤレスネットワーク接続を使用していても、このセクションで説明するアドホック設定を行うと、ご利用の環境でプリンターとコンピューターが通信できなくなることがあります。 プリンターとコンピューター間で直接ワイヤレス通信を使用する場合にのみ、アドホック設定を行ってください。

◆ Windows 7

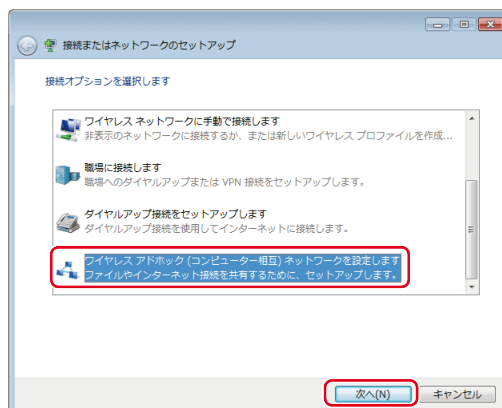
1. **［スタート］→［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット］**を選択します。

2. **［ネットワークと共有センター］**をクリックします。

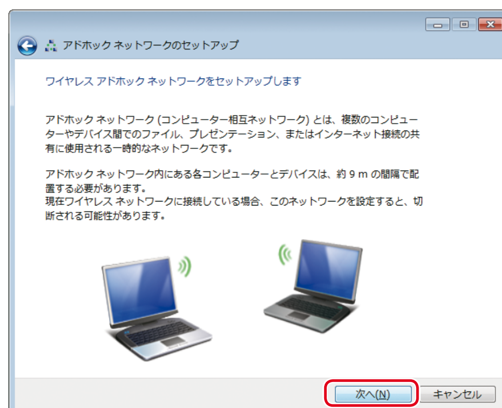
3. **［新しい接続またはネットワークのセットアップ］**をクリックします。



4. **［ワイヤレス アドホック（コンピュータ相互）ネットワークを設定します］**を選択して、**［次へ］**をクリックします。



5. **［次へ］**をクリックします。



6 次の表を参照して設定を行い、［次へ］をクリックします。

アドホック ネットワークのセットアップ

ネットワークに名前を付けて、セキュリティ オプションを選んでください

ネットワーク名(T): ―― a

セキュリティの種類(S): WEP ―― b

セキュリティ キー(E): ●●●●●●●●●●●● ―― c

このネットワークを保存します(V) ―― d

次へ(N)　キャンセル

a	**ネットワーク名：** 次の文字を使用して名前を入力します。 0123456789 !” #$%&’ ()*+,-./:; ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ Abcdefghijklmnopqrstuvwxyz [\]^_`{|}~<=>?@
b	**セキュリティの種類：** WEP を選択します。
c	**セキュリティ キー：** 5 文字、または 13 文字で入力します。
d	**このネットワークを保存します：** このチェックボックスを選択します。

7 ［閉じる］をクリックします。

アドホック ネットワークのセットアップ

ネットワークの使用準備ができています

このネットワークはワイヤレス ネットワークの一覧に表示され、すべてのユーザーが接続を切断するまではアクティブになります。このネットワークに接続するユーザーにネットワーク名とセキュリティ キー (ある場合) を知らせてください。

ワイヤレス ネットワークの名前:

ネットワーク セキュリティ キー:

ファイルを共有するには、コントロール パネルの [ネットワークと共有センター] を開いて、ファイルの共有を有効にしてください。

推奨されるオプション:

インターネット接続の共有を有効にします

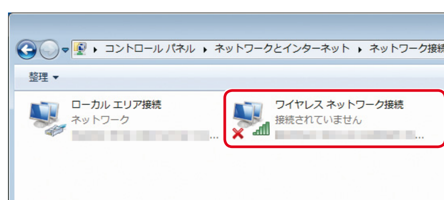
アドホック ネットワークでインターネット接続を共有します

閉じる(C)

8 ［アダプターの設定の変更］をクリックします。



9 ［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンをダブルクリックします。



10 アドホック接続が登録されていることを確認します。



▶ 2 (9 ページ)

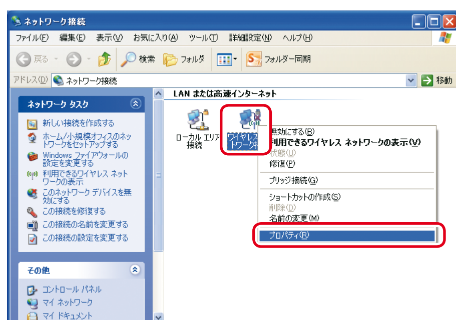
◆ Windows XP

ご利用の環境によっては、IP アドレスを自動的に取得する機能を使用できないことがあります。その場合、静的 IP アドレスを設定する必要があります。詳細については、コンピューターまたはワイヤレス機器のマニュアルを参照してください。

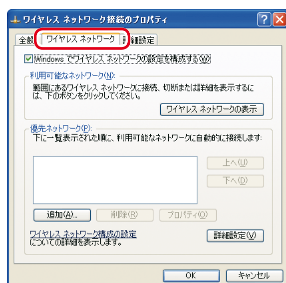
1 ［スタート］→［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット接続］を選択します。

2 ［ネットワーク接続］をクリックします。

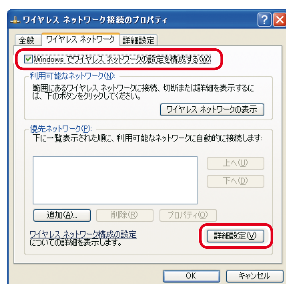
3 ［ワイヤレス ネットワーク接続］を右クリックして、［プロパティ］を選択します。



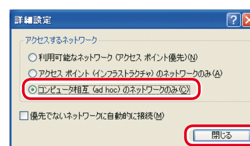
4 ［ワイヤレス ネットワーク］タブを選択します。



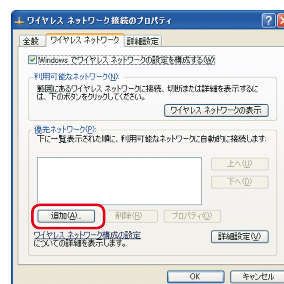
5 ［Windows でワイヤレス ネットワークの設定を構成する］チェックボックスが選択されていることを確認して、［詳細設定］をクリックします。



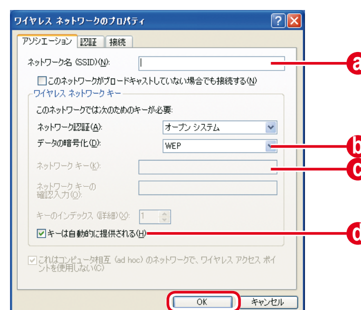
6 ［コンピュータ相互（ad hoc）のネットワークのみ］を選択して、［閉じる］をクリックします。



7 ［追加］をクリックします。

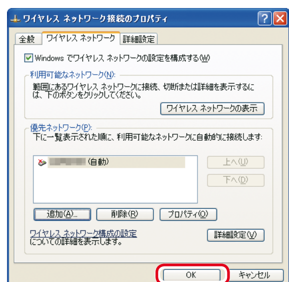


8 次の表を参照して設定を行い、［OK］をクリックします。



a	**ネットワーク名 (SSID)：** 次の文字を使用して名前を入力します。 0123456789 !” #$%&’ ()*+,-./:; ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ Abcdefghijklmnopqrstuvwxyz [\]^_`{|}~<=>?@
b	**データの暗号化：** WEP を選択します。
c	**ネットワーク キー：** 5 文字、または 13 文字で入力します。
d	**キーは自動的に提供される：** このチェックボックスの選択を外して、セキュリティーキーを入力します。

9 ［OK］をクリックします。



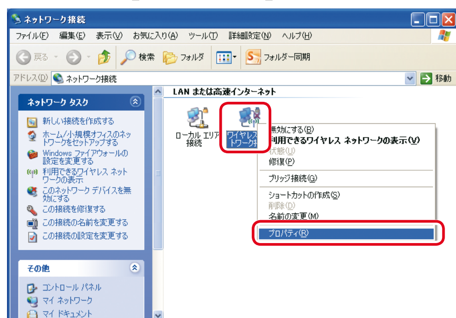
10 ✖アイコンが消えるまで待ちます。



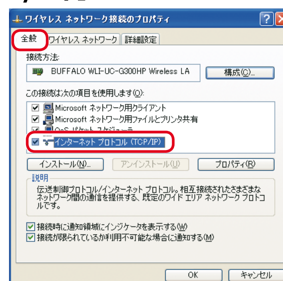
▶ 2 (9 ページ)

5 分経っても✖アイコンが消えない場合は、次の手順に従って静的 IP アドレスを設定してください。

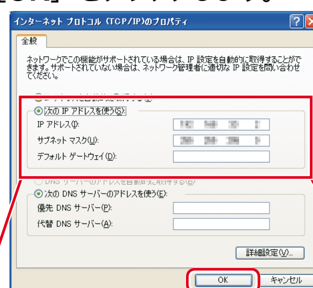
10.1 ［**ワイヤレス ネットワーク接続**］を右クリックして、［**プロパティ**］を選択します。

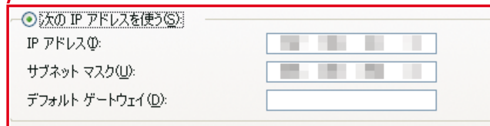


10.2 ［全般］タブで［**インターネット プロトコル (TCP/IP)**］をダブルクリックします。



10.3 ［**次の IP アドレスを使う**］を選択します。［**IP アドレス**］と［**サブネットマスク**］に値を入力して［**OK**］をクリックし、10.2 画面で［**OK**］をクリックします。





▶ 2 (9 ページ)

スキャンおよびファクス機能を設定する

概要

ここでは、LP-M230 シリーズのスキャンおよびファクス機能を使用するための手順をご案内します。
本章の説明は、次の 2 つの作業がすでに行われた状態を想定しています。

✓ **接続タイプの選択と本機の接続**
接続していない場合は、「プリンターを設置する」（1 ページ）を参照してプリンターをコンピューターに接続してください。

✓ **ドライバーとユーティリティーのインストール**
インストールしていない場合は、ユーザーズガイドを参照してコンピューターにドライバーソフトウェアをインストールしてください。

プリンターはネットワークまたは USB 経由で接続できます。スキャン機能は、接続方法によって異なります。
ネットワーク経由でプリンターに接続した場合は、「ネットワーク経由での接続時にスキャンおよびファクス機能を設定する」（18 ページ）を参照してください。
USB での直接接続の場合は、「USB 経由での接続時にスキャンおよびファクス機能を設定する」（23 ページ）を参照してください。

ここでは、以下の設定方法を紹介します。

コンピューターへのスキャン機能、電子メールへのスキャン機能、FTP サーバーへのスキャン機能：

- ネットワーク経由の接続の場合
  - 共有フォルダーを設定する
  - ネットワークコンピューターへのスキャンに使用する宛先を作成する
  - SMTP サーバーを設定する
  - 電子メール宛先を作成する
  - FTP サーバーへのスキャン設定を行う
- USB 経由の接続の場合
  - 宛先表ツールを使用してネットワークコンピューターへのスキャンに使用する宛先を作成する
  - スキャンボタンマネージャーを使用して USB で接続したコンピューターへのスキャン設定を行う

ファクス機能：

- ファクスの設定を行う
- 個人用ファクス宛先を作成する
- ファクスグループを作成・編集する

ネットワーク経由での接続時にスキャンおよびファクス機能を設定する

ネットワーク経由でコンピューターをプリンターに接続する場合は、以下の設定方法を参考にしてください。

■ コンピューターへのスキャン

■ 電子メールへのスキャン

■ FTP サーバーへのスキャン

■ ファクス

補足：

■ ここでは、Microsoft® Windows® 7 および Mac OS® X 10.6 を例に説明します。

コンピューターへのスキャン

◆ 手順 1：共有フォルダーを設定する

Windows：Windows オペレーティングシステム上でフォルダーを共有する場合：

補足：

■ ここでは、Windows 7 を例に説明します。

■ コンピューターへのスキャン機能では、空のパスワードは無効となります。必ず有効なユーザーログインアカウントのパスワードを設定してください。

1 コンピューターの任意のディレクトリーにフォルダーを作成し、フォルダーをダブルクリックします。

2 [**整理**]から[**フォルダーと検索のオプション**]を選択します。

3 [**表示**]タブをクリックし、[**共有ウィザードを使用する（推奨）**]チェックボックスのチェックを外します。

4 [**OK**]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

5 フォルダーを右クリックし、[**プロパティ**]を選択します。

6 [**共有**]タブで[**詳細な共有**]を選択します。

7 [**このフォルダーを共有する**]チェックボックスを選択します。

8 [**共有名**]ボックスに共有名を入力します。

補足：

■ 次の設定手順で使用するため、この共有名をメモしておいてください。

9 [**アクセス許可**]をクリックし、フォルダーへの書き込み権限を作成します。

10 [**追加**]をクリックします。

11 [**詳細設定**]をクリックしてユーザーログイン名を検索するか、[**選択するオブジェクト名を入力してください**]ボックスにユーザーログイン名を入力し、[**名前の確認**]をクリックして確認します。

補足：

■ ユーザーログイン名には［**Everyone**］を使用しないでください。

12 [**OK**]をクリックします。

13 入力したログイン名をクリックし、[**許可**]の[**フル コントロール**]チェックボックスを選択します。
文書をフォルダーに送信する権限が付与されます。

14 [**OK**]をクリックします。

15 [**適用**]をクリックし、[**OK**]をクリックします。

Mac OS X：Mac OS X オペレーティングシステムでフォルダーを共有する場合：

1 コンピューターの任意のディレクトリーに、新たにフォルダーを作成します。

補足：

■ 次の設定手順で使用するため、フォルダー名をメモしておいてください。

2 作成したフォルダーを選択し、[**ファイル**]メニューから[**情報を見る**]を選択します。

3 [**共有フォルダ**]チェックボックスを選択します。

4 [**共有とアクセス権**]でプラス（**+**）記号をクリックします。

5 自分のアカウントを選択し、[**選択**]をクリックします。

6 アカウントの[**アクセス権**]を[**読み / 書き**]に設定し、ウィンドウを閉じます。

7 [**システム環境設定**]を開き、[**共有**]をクリックします。

8 [**ファイル共有**]チェックボックスを選択し、[**オプション**]をクリックします。

9 [**SMB(Windows)を使用してファイルやフォルダを共有**]チェックボックスを選択し、アカウント名を選択します。

10 アカウントのパスワードを入力し、[**OK**]をクリックします。

11 [**完了**]をクリックします。

◆ 手順 2:EpsonNet Config を使用して、ネットワークコンピューターへのスキャンに使用する宛先を作成する

1 ウェブブラウザーを起動します。

2 アドレスバーにプリンターの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

プリンターのウェブページが表示されます。

補足:
■ プリンターの IP アドレスを確認するには、System Settings ページを印刷してください。

3 [**アドレス帳**]タブをクリックします。

ユーザー名とパスワードが要求される場合は、正しいユーザー名とパスワードを入力します。

補足:
■ 工場出荷時のユーザー ID とパスワードは、両方とも空白(空値)です。

4 [**ネットワークスキャン (PC/ サーバー)**]で[**PC/ サーバー宛先表**]をクリックします。

5 未登録の行にある[**新規登録**]をクリックします。

[**PC/ サーバー宛先表を登録**]ページが表示されます。

6 コンピューターの情報を入力します。

a. [**名称 (プリンターに表示されます)**]フィールドに宛先表に表示する名称を入力します。

b. [**ネットワーク種類**]に[**SMB**]を選択します。

c. [**IP アドレス(または DNS 名)**]フィールドにコンピューターの IP アドレスを入力します。

Windows:コンピューターの IP アドレスを確認するには、DOS コマンドプロンプトのウィンドウを開き、「**ipconfig**」と入力して **Enter** キーを押します。

Mac OS X:コンピューターの IP アドレスを確認するには、[**システム環境設定**]を開き、[**ネットワーク**]をクリックします。

d. [**ポート番号**]フィールドにポート番号を入力します。分からない場合は、デフォルト値の 139 を入力してください。

e. [**ログイン名**]フィールドに、コンピューター上の共有フォルダーへのアクセス権のあるユーザーアカウント名を入力します。

補足:
■ [**ログイン名**]には日本語を使用できません。

f. [**パスワード**]と[**パスワードの確認**]フィールドに、上のログイン名のパスワードを入力します。

補足:
■ コンピューターへのスキャン機能では、空のパスワードは無効となります。必ず有効なユーザーログインアカウントのパスワードを設定してください。

g. **Windows**:[**共有名**]フィールドに共有用に作成したフォルダーの共有名を入力します。

Mac OS X:[**共有名**]フィールドに共有用に作成したフォルダーのフォルダー名を入力します。

h. スキャンした文書を共有フォルダー下に作成したサブフォルダーに保存するには、[**サブディレクトリパス (任意)**]にパスを入力します。例えば、共有フォルダー下に[**ColorScans**]サブフォルダーを作成した場合、[**サブディレクトリパス (任意)**]フィールドに「**\ColorScans**」と入力します。

サブフォルダーを作成せずにスキャンした文書を直接共有フォルダーに保存する場合は、空白にしてください。

7 ［**新しい設定を適用**］をクリックすると、新しい宛先が登録されます。

電子メールへのスキャン

◆ 手順 1：EpsonNet Config を使用して SMTP サーバーを設定する

電子メールへのスキャン機能を使用するには、まず SMTP サーバー情報を設定します。SMTP（簡易メール転送プロトコル）とは、電子メール送信に使用するプロトコルです。

1 ウェブブラウザーを起動します。

2 アドレスバーにプリンターの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

プリンターのウェブページが表示されます。

補足：
- プリンターの IP アドレスを確認するには、System Settings ページを印刷してください。

3 ［**プロパティ**］タブをクリックします。

4 ［**ポート起動**］を選択します。

5 ［**SNMP**］で［**有効**］チェックボックスが選択されていることを確認します。

6 ［**プロトコル設定**］で［**E メール**］をクリックします。

7 電子メール設定を入力し、［**新しい設定を適用**］をクリックします。（［**SMTP サーバー設定**］の設定を行います。ご使用の環境によっては、［**SMTP 送信の認証**］を設定する必要がある場合もあります。）

補足：
- 必要に応じて、システム管理者に電子メール設定を問い合わせてください。

◆ 手順 2：EpsonNet Config を使用して個人用電子メール宛先を作成する

1 ウェブブラウザーを起動します。

2 アドレスバーにプリンターの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

プリンターのウェブページが表示されます。

補足：
- プリンターの IP アドレスを確認するには、System Settings ページを印刷してください。

3 ［**アドレス帳**］タブをクリックします。

ユーザー名とパスワードが要求される場合は、正しいユーザー名とパスワードを入力します。

補足：
- 工場出荷時のユーザー ID とパスワードは、パスワードは、両方とも空白（空値）です。

4 ［**ファクス / メール**］で［**アドレス**］をクリックします。

5 未登録の行にある［**新規登録**］をクリックします。

［**個人アドレスを登録**］ページが表示されます。

6 ［**名称**］フィールドに、宛先表に表示する名称を入力します。

7 ［**メールアドレス**］フィールドに宛先の電子メールアドレスを入力します。

8 ［**新しい設定を適用**］をクリックすると、新しい宛先が登録されます。

FTP サーバーへのスキャン

◆ EpsonNet Config を使用して FTP サーバーへのスキャン設定を行う

EpsonNet Config を使用してスキャン用の宛先を作成する場合：

1 ウェブブラウザーを起動します。

2 アドレスバーにプリンターの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

プリンターのウェブページが表示されます。

補足：
- プリンターの IP アドレスを確認するには、System Settings ページを印刷してください。

3 ［**アドレス帳**］タブをクリックします。

ユーザー名とパスワードが要求される場合は、正しいユーザー名とパスワードを入力します。

補足：
- 工場出荷時のユーザー ID とパスワードは、両方とも空白（空値）です。

4 ［**ネットワークスキャン (PC/ サーバー)**］で［**PC/ サーバー宛先表**］をクリックします。

5 未登録の行にある［**新規登録**］をクリックします。

［**PC/ サーバー宛先表を登録**］ページが表示されます。

6 FTP サーバーの情報を入力します。

a.［**名称 (プリンターに表示されます)**］フィールドに宛先表に表示する名称を入力します。

b.［**ネットワーク種類**］で［**FTP サーバー**］を選択します。

c.［**IP アドレス（または DNS 名）**］フィールドに FTP サーバーの IP アドレスを入力します。

d.［**ポート番号**］フィールドにサーバーのポート番号を入力します。分からない場合は、デフォルト値の 21 を入力してください。

e.［**ログイン名**］フィールドに、FTP サーバーへのアクセス権のあるユーザーアカウント名を入力します。

f.［**パスワード**］と［**パスワードの確認**］フィールドに、上のログイン名のパスワードを入力します。

補足：
- FTP サーバーへのスキャン機能では、空のパスワードは無効となります。必ず有効なユーザーログインアカウントのパスワードを設定してください。

g.［**共有名**］および［**サブディレクトリパス (任意)**］フィールドは空白とします。

7 ［**新しい設定を適用**］をクリックすると、新しい宛先が登録されます。

ファクス

◆ 手順 1：ファクスの初期設定を行う

1 プリンターに電話線が接続されていることを確認します。

2 操作パネルの**各種設定**ボタンを押します。

3 **仕様設定**を選択し、OKボタンを押します。

4 **ファクス設定**を選択し、OKボタンを押します。

5 **発信元ﾌｧｸｽ番号**を選択し、OKボタンを押します。

6 テンキーでファクス番号を入力します。

7 LCD ディスプレイに表示された番号が正しければOKボタンを押します。

8 **発信元名**を選択し、OKボタンを押します。

9 テンキーで名前を入力します。

10 LCD ディスプレイに表示された名前が正しければOKボタンを押します。

これでプリンターのファクス初期設定は完了です。

◆ 手順 2：EpsonNet Config を使用してファクス送信用宛先を作成する

1 ウェブブラウザーを起動します。

2 アドレスバーにプリンターの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

プリンターのウェブページが表示されます。

補足：
■ プリンターの IP アドレスを確認するには、System Settings ページを印刷してください。

3 ［**アドレス帳**］タブをクリックします。

ユーザー名とパスワードが要求される場合は、正しいユーザー名とパスワードを入力します。

補足：
■ 工場出荷時のユーザー ID とパスワードは、両方とも空白（空値）です。

4 ［**ファクス / メール**］で［**アドレス**］をクリックします。

5 未登録の行にある［**新規登録**］をクリックします。

［**個人アドレスを登録**］ページが表示されます。

補足：
■ 宛先表の最初の 8 件の宛先が、操作パネルのワンタッチボタンに割り当てられます。

6 ［**名称**］フィールドに、宛先表に表示する名称を入力します。

7 ［**電話番号**］フィールドに宛先のファクス番号を入力します。

8 ［**新しい設定を適用**］をクリックすると、新しい宛先が登録されます。

◆ 手順 3：EpsonNet Config を使用してファクスグループを作成・編集する

EpsonNet Config からファクスグループを作成・編集する場合：

1 ウェブブラウザーを起動します。

2 アドレスバーにプリンターの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

プリンターのウェブページが表示されます。

補足：
■ プリンターの IP アドレスを確認するには、System Settings ページを印刷してください。

3 ［**アドレス帳**］タブをクリックします。

ユーザー名とパスワードが要求される場合は、正しいユーザー名とパスワードを入力します。

補足：
■ 工場出荷時のユーザー ID とパスワードは、両方とも空白（空値）です。

4 ［**ファクス / メール**］で［**ファクスグループ**］をクリックします。

5 未登録の行にある［**新規登録**］をクリックします。

［**ファクスグループを登録**］ページが表示されます。

6 ［**グループ名称**］フィールドにグループ名を入力します。

7 ［**新しい設定を適用**］をクリックすると、新しいファクスグループが登録されます。

8 ［**戻る**］をクリックします。

9 作成したグループ名をクリックします。

［**ファクスグループを編集**］ページが表示されます。

10 ファクスグループに追加する宛先を選択します。

11 ［**新しい設定を適用**］をクリックします。

USB 経由での接続時にスキャンおよびファクス機能を設定する

USB（ユニバーサルシリアルバス）経由でコンピューターをプリンターに接続する場合は、以下の設定方法を参考にしてください。

■ コンピューターへのスキャン

■ ファクス

補足：

■ ここでは、Microsoft® Windows® 7 および Mac OS® X 10.6 を例に説明します。

コンピューターへのスキャン

ネットワークコンピューターへのスキャン設定を行うには、宛先表ツールを使用します。
USB で接続したコンピューターへのスキャン設定を行うには、スキャンボタンマネージャーを使用します。

◆ 宛先表ツールを使用してネットワークコンピューターへのスキャンに使用する宛先を作成する

補足：

■ 宛先表ツールはプリンタードライバーと一緒にインストールされます。

■ 宛先表ツールを使用するにはファクスドライバーが必要です。

■ ネットワークコンピューターにスキャンするには、あらかじめ共有フォルダーを設定します。「手順 1：共有フォルダーを設定する」（18ページ）を参照して共有フォルダーを作成してください。

1 Windows：［スタート］→［すべてのプログラム］→［EPSON］→［EPSON LP-M230FDN_FDW］→［宛先表ツール］をクリックします。

Mac OS X：［アプリケーション］フォルダーで［EPSON］→［EPSON LP-M230FDN-FDW］→［宛先表ツール］を選択します。

補足：

■ 複数のファクスドライバーがコンピューターにインストールされている場合はプリンターを選択するウィンドウが表示されます。この場合は、［**機器の名称**］の一覧で任意のプリンターの名前をクリックします。

■ 操作パネルで**操作制限設定**を**有効**に設定している場合、パスワードを入力するウィンドウが表示されます。この場合は、指定したパスワードを入力して［OK］をクリックします。

2 ［データの取得に成功しました。］メッセージウィンドウで［OK］をクリックします。

3 Windows：［ツール］→［新規作成［本体の宛先表］］→［サーバー］をクリックします。

Mac OS X：［新規作成［本体の宛先表］］アイコンをクリックし、［サーバー］を選択します。

［**サーバーアドレス**］ダイアログボックスが表示されます。

4 自動割り当てされた宛先 ID を変更する場合は、［宛先番号を指定する］チェックボックスを選択し、［宛先 ID］で 1 ～ 32 の値を入力します。

5 コンピューターの情報を入力します。

a. ［**宛先名**］フィールドに宛先表に表示する名称を入力します。

b. ［**転送プロトコル**］に［**コンピューター**］を選択します。

補足：

■ Windows の場合は、［**コンピューター設定ウィザード**］ボタンをクリックしてウィザードの手順を実行すれば、［**サーバーアドレス**］の設定が自動的に行われます。詳細については［**ヘルプ**］ボタンをクリックしてください。

c. ［**サーバー /IP アドレス**］フィールドにコンピューターの IP アドレスを入力します。

Windows：コンピューターの IP アドレスを確認するには、DOS コマンドプロンプトのウィンドウを開き、「**ipconfig**」と入力して **Enter** キーを押します。

Mac OS X：コンピューターの IP アドレスを確認するには、［**システム環境設定**］を開き、［**ネットワーク**］をクリックします。

d. Windows：［**共有名**］フィールドに共有用に作成したフォルダーの共有名を入力します。

Mac OS X：［**共有名**］フィールドに共有用に作成したフォルダーのフォルダー名を入力します。

e. スキャンした文書を共有フォルダー下に作成したサブフォルダーに保存するには、［**保存場所**］にパスを入力します。例えば、共有フォルダー下に［ColorScans］サブフォルダーを作成した場合、［**保存場所**］フィールドに「\ColorScans」と入力します。

サブフォルダーを作成せずにスキャンした文書を直接共有フォルダーに保存する場合は、空白にしてください。

f. ［**ユーザー名**］フィールドに、コンピューター上の共有フォルダーへのアクセス権のあるユーザーアカウント名を入力します。

補足：

■ ［**ユーザー名**］には日本語を使用できません。

g. ［**ログインパスワード**］と［**ログインパスワードの確認**］フィールドに、上のログイン名のパスワードを入力します。

補足：

■ コンピューターへのスキャン機能では、空のパスワードは無効となります。必ず有効なユーザーログインアカウントのパスワードを設定してください。

h. ［**既定のポート番号を使用する**］チェックボックスの選択を外し、コンピューターが使用する［**ポート番号**］を入力します。分からない場合は選択したままにしてください。デフォルト値は 139 です。

6 設定を確認し、［**OK**］をクリックします。

7 Windows：［**ファイル**］メニューから［**すべて保存**］を選択します。

Mac OS X：［**保存**］アイコンをクリックします。

宛先表が新しい宛先とともにプリンターに保存されます。
これで、ネットワークコンピューターに画像をスキャンできます。

◆ スキャンボタンマネージャーを使用して USB で接続したコンピューターへのスキャン設定を行う

補足：

■ スキャンボタンマネージャーはプリンタードライバーと一緒にインストールされます。

1 Windows：［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**EPSON**］→［**EPSON LP-M230FDN_FDW**］→［**スキャンボタンマネージャー**］をクリックします。

Mac OS X：［**アプリケーション**］フォルダーで［**EPSON**］→［**EPSON LP-M230FDN-FDW**］→［**スキャンボタンマネージャー**］を選択します。

2 ［**参照**］をクリックします。

3 Windows：スキャン画像ファイルの出力先を選択し、［**OK**］をクリックします。

Mac OS X：スキャン画像ファイルの出力先を選択し、［**開く**］をクリックします。

4 ［**OK**］をクリックします。

ファクス

◆ 手順 1：ファクスの初期設定を行う

1 プリンターに電話線が接続されていることを確認します。

2 操作パネルの**各種設定**ボタンを押します。

3 **仕様設定**を選択し、OKボタンを押します。

4 **ファクス設定**を選択し、OKボタンを押します。

5 **発信元ﾌｧｸｽ番号**を選択し、OKボタンを押します。

6 テンキーでファクス番号を入力します。

7 LCD ディスプレイに表示された番号が正しければOKボタンを押します。

8 **発信元名**を選択し、OKボタンを押します。

9 テンキーで名前を入力します。

10 LCD ディスプレイに表示された名前が正しければOKボタンを押します。

これでプリンターのファクス初期設定は完了です。

◆ 手順 2：宛先表ツールを使用して個人用ファクス宛先を作成する

1 Windows：［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**EPSON**］→［**EPSON LP-M230FDN_FDW**］→［**宛先表ツール**］をクリックします。

Mac OS X：［**アプリケーション**］フォルダーで［**EPSON**］→［**EPSON LP-M230FDN-FDW**］→［**宛先表ツール**］を選択します。

補足：
- ■ 複数のファクスドライバーがコンピューターにインストールされている場合はプリンターを選択するウィンドウが表示されます。この場合は、［**機器の名称**］の一覧で任意のプリンターの名前をクリックします。
- ■ 操作パネルで**操作制限設定**を**有効**に設定している場合、パスワードを入力するウィンドウが表示されます。この場合は、指定したパスワードを入力して［OK］をクリックします。

2 ［**データの取得に成功しました。**］メッセージウィンドウで［**OK**］をクリックします。

3 Windows：左ナビゲーション画面で［**ファクス / メール**］アイコンを右クリックし、［**新規登録**］→［**新規宛先**］を選択します。

Mac OS X：［**新規作成 [本体の宛先表]**］アイコンをクリックし、［**ファクス / メール**］→［**新規宛先**］を選択します。

［**個人用宛先**］ダイアログボックスが表示されます。

4 自動割り当てされた宛先 ID を変更する場合は、［**宛先番号を指定する**］チェックボックスを選択し、［**ID[短縮宛先番号]**］で 1 ～ 99 の値を入力します。

補足：
- ■ 宛先表の最初の８件の宛先が、操作パネルのワンタッチボタンに割り当てられます。

5 ［**宛先名**］フィールドに、宛先表に表示する名称を入力します。

6 ［**電話番号**］フィールドに宛先のファクス番号を入力します。

7 ［OK］をクリックします。

8 Windows：［**ファイル**］メニューから［**すべて保存**］を選択します。

Mac OS X：［**保存**］アイコンをクリックします。

宛先表が新しいファクス宛先とともに保存されます。

◆ 手順 3：宛先表ツールを使用してファクスグループを作成・編集する

宛先表ツールを使用してグループを作成する場合：

1. Windows：［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**EPSON**］→［**EPSON LP-M230FDN_FDW**］→［**宛先表ツール**］をクリックします。

   Mac OS X：［**アプリケーション**］フォルダーで［**EPSON**］→［**EPSON LP-M230FDN-FDW**］→［**宛先表ツール**］をクリックします。

   補足：
   - 複数のファクスドライバーがコンピューターにインストールされている場合はプリンターを選択するウィンドウが表示されます。この場合は、［**機器の名称**］の一覧で任意のプリンターの名前をクリックします。
   - 操作パネルで**操作制限設定**を**有効**に設定している場合、パスワードを入力するウィンドウが表示されます。この場合は、指定したパスワードを入力して［**OK**］をクリックします。

2. ［**データの取得に成功しました。**］メッセージウィンドウで［**OK**］をクリックします。

3. Windows：左ナビゲーション画面で［**ファクス / メール**］アイコンを右クリックし、［**新規登録**］→［**新規ファクスグループ**］を選択します。

   Mac OS X：［**新規作成 [本体の宛先表]**］アイコンをクリックし、［**ファクス / メール**］→［**新規ファクスグループ**］を選択します。

   ［**ファクスグループ**］ダイアログボックスが表示されます。

4. 自動割り当てされたグループ ID を変更する場合は、［**宛先番号を指定する**］チェックボックスを選択し、［**グループ ID**］で 1 ～ 6 の値を入力します。

5. ［**グループ名**］フィールドに、宛先表に表示する名称を入力します。

6. ［**追加と削除**］ボタンをクリックします。

7. ［**選択できるメンバー**］からグループメンバーを選択し、［**追加**］ボタンをクリックしてグループに追加します。

8. グループメンバーの追加が終わったら［**OK**］をクリックします。

9. もう一度［**OK**］をクリックしてグループを作成します。

   Mac OS X の場合は手順 11 に進みます。

10. グループメンバーを確認し、［**OK**］をクリックします。

11. Windows：［**ファイル**］メニューから［**すべて保存**］を選択します。

    Mac OS X：［**保存**］アイコンをクリックします。

宛先表ツールでファクスグループを編集する場合：

1. 宛先表ツールを開きます。

2. 左ナビゲーション画面で、［**ファクス / メール**］アイコンをクリックします。

3. 右上のナビゲーション画面で編集するファクスグループをダブルクリックします。

4. ［**追加と削除**］ボタンをクリックします。

5. ［**追加**］および［**削除**］ボタンでグループの編集を行います。

6. ［**OK**］をクリックします。

7. もう一度［**OK**］をクリックします。

   Mac OS X の場合は手順 9 に進みます。

8. グループメンバーを確認し、［**OK**］をクリックします。

9. Windows：［**ファイル**］メニューから［**すべて保存**］を選択します。

   Mac OS X：［**保存**］アイコンをクリックします。

LP-M230 シリーズ　セットアップガイド



2012 年 10 月発行
604E 61290 / DE5138J9-1
Printed in China

